

5.3【安定して事業を継続・発展できるまち】(つくば市産業戦略P31～)

評価	S: 施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A: 施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B: 施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C: 施策の内容について制度設計中のもの	D: 施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------	---------------------------------

(1) テーマ: 既存事業者の経営を健全化する

評価	S	S	S	S	B	C
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 継続	実施 拡充	実施 新規	実施 拡充	検討 拡充
施策	中小企業経営力強化促進奨励補助金	経営安定化へ向けた金融支援制度	補助金関連の情報一元化	ワンストップ事業相談窓口(創業、事業承継等含め一元化)	コーディネーターによる企業訪問	創業から3～5年に対する保証施策

(2) テーマ: 既存事業者の製品・サービス等の品質・認知度を向上する

評価	S	S	S	S	A	S
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 新規
施策	つくばコレクション	ふるさと納税返礼品	PRTIMES連携協定の活用	つくば産業フェア	各地物産展等出展支援	パッケージ開発支援

評価	A	B	D	D
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 新規
施策	つくばクオリティ認定制度	市民モニター等を活用した実証事業支援	インバウンドに対応した環境の整備	地域情報誌との連携

(3) テーマ: 最先端技術等を活用し既存事業者の生産性や業務効率化

評価	A	S	A	C
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 新規	実施 新規	検討 拡充
施策	先端設備等導入計画	公的助成金等の申請支援	IoT・RPA等最先端技術導入支援	キャッシュレス導入支援(中小企業経営力強化促進補助金の活用)

(4) テーマ: 既存事業者の販路を開拓して、受注機会を拡大する

評価	A	A	A	A	B	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 拡充	検討 新規	検討 新規
施策	展示会出展支援補助金	販路開拓イベント	グローバルネクスト	海外販路拡大支援	各所が運営するECサイトとの連携	姉妹都市とのビジネス交流機会創出

(5) テーマ: 次世代へ事業を承継する

評価		B	A	B	B
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 新規
施策	ワンストップ事業相談窓口[再掲]	支援機関での相談情報の共有	事業承継未定事業者の調査	継ぐスタの共催	廃業者再チャレンジ支援

評価Dで次年度検討予定の施策

--

課題がある施策とその内容(評価B又はC)

<p>【創業から3～5年に対する保証施策】2022年度から茨城県の創業支援融資を受けた事業者に対し、保証料の補助を実施中。</p> <p>【キャッシュレス導入支援(中小企業経営力強化促進補助金の活用)】各補助制度とキャッシュレス導入支援との紐づけを模索中。</p> <p>【姉妹都市とのビジネス交流機会創出】JETROによる産業特性調査実施、事業実施は情勢に応じて判断する。</p> <p>【支援機関での相談情報の共有】事業承継を希望する事業者の情報を「茨城県事業承継・引継ぎ支援センター」に提供する。</p> <p>【廃業者再チャレンジ支援】アンケートや経営支援ワンストップ窓口で把握できた廃業検討者にアプローチをし、希望があれば茨城県事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継ぐ。(廃業者とは廃業検討者とする)</p> <p>【継ぐスタの共催】経営資源を受け継いで新規創業を希望する者を茨城県事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継ぐ。</p> <p>■新型コロナウイルスの影響があった事業</p> <p>【企業訪問】県と共同でのフォローアップ訪問に加え、市単独の企業訪問を実施中</p>

5.4【新たにチャレンジできるまち】(つくば市産業戦略P36～)

評価	S:施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A:施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B:施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C:施策の内容について制度設計中のもの	D:施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------

(1)テーマ:新たなチャレンジの機運を高める

評価	S	S	A	C	A
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 拡充	実施 新規	検討 拡充	検討 新規
施策	6次産業化の推進	イベント開催支援	新商品開発支援	各種ピッチ会の開催	クラウドファンด์実施支援

(2)テーマ:つくば市の地域資源を最大限に活用してアイデアを創出する

評価	B	S	S	C	S	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 拡充	実施 継続	実施 拡充	実施 継続	検討 拡充
施策	市内企業のマッチング支援	交流サロンにおけるイベント実施	スタートアップパークでのイベント開催	提携連結・協業成果情報発信支援	ビジネスプランアワードへの参加支援	市内事業者情報の一元化

(3)テーマ:研究開発に取り組みアイデアをカタチにする

評価			A	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 新規	実施 新規	検討 新規
施策	ビジネスプランアワードへの参加支援[再掲]	市民モニター等を活用した実証事業支援[再掲]	新製品・新事業開発支援	知的財産取得支援

評価Dで次年度検討予定の施策

--

課題がある施策とその内容(評価B又はC)

【各種ピッチ会の開催】異業種交流とリンクさせながら行うことを模索。(重点3)
 【市内企業のマッチング支援】産業コーディネータと各機関コーディネータの意見交換機会の創出
 【提携連結・協業成果情報発信支援】【市内事業者情報の一元化】事業者情報収集手法及び情報発信方法の検討。
 【知的財産取得支援】知財関連で使える制度を整理するとともに、茨城県知財総合支援窓口との連携を検討。

5.5【世界の未来をつくる新たな科学・技術・人材が生まれるまち】(つくば市産業戦略P39～)

評価	S:施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A:施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B:施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C:施策の内容について制度設計中のもの	D:施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------

(1)テーマ:新たに企業が進出する

評価	S	S	A	B	B	C
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 継続	実施 継続	実施 新規	検討 拡充	検討 拡充
施策	空き店情報の集約および補助金の活用	つくばスタートアップパークの活用	事業用不動産物件情報連携協定	事業スペース・用地等のニーズ調査	新たな産業用地の確保	企業誘致補助

評価	C	A
実施/検討 新規/拡充	検討 新規	検討 新規
施策	中心市街地におけるイノベーション拠点整備	空き家を活用したオフィス利用支援

(2)テーマ:科学・技術・人材の交流によってイノベーションを創出する

評価	S	S	S	S	S	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 新規
施策	未来共創プロジェクトの実施	SDGsパートナーズの推進	社会実装トライアルの支援	近未来技術等の社会実装の推進	アクセラレーションプログラムの実施	交流会の開催

評価	A
実施/検討 新規/拡充	検討 拡充
施策	近未来技術実装エリアの整備

(3)テーマ:市内で新たな創業者が誕生する

評価	S	S	S	S	D	C
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 継続	実施 継続	実施 継続	検討 新規	検討 新規
施策	創業支援等事業計画	チャレンジショップ	新規創業促進補助金	スタートアップセミナー等の実施	スタートアップビザと連動した外国人創業支援	創業1年以内の事業者への保証施策

評価Dで次年度検討予定の施策

【スタートアップビザと連動した外国人創業支援】外国人創業にあたっての配慮事項や支援制度をまとめた外国語ガイドの作成、外国語対応の創業支援について対応を整理する。

課題がある施策とその内容(評価B又はC)

【創業1年以内の事業者への保証施策】2022年度から茨城県の創業支援融資を受けた事業者に対し、保証料の補助を実施中。
 【交流会の開催】スタートアップパークでの定期開催イベントにおいて、既存事業者も気軽に交流できるような場を作り、交流を図る。(重点3)
 【事業スペース・用地等のニーズ調査】2021年度は工業団地内企業へのニーズ調査を実施。(重点5)
 【新たな産業用地の確保】地域未来投資促進法の見直しが検討されており、見直しの状況を踏まえて、法を活用することが可能か検討していく。
 【中心市街地におけるイノベーション拠点整備】学園地区市街地振興課等と継続して情報共有を図りながら、必要施策について検討する。
 【企業誘致補助】2022年度から企業立地促進補助金(オフィスの賃料補助)制度を設け、当該制度を運用中

5.6【地域産業人材が集まり・定着するまち】(つくば市産業戦略P42～)

評価	S:施策実行し、一定の成果があり、継続実施予定のもの	A:施策実行し、成果評価中であるが、継続実施予定のもの	B:施策実行し、継続実施にあたり改善が必要と思われるもの	C:施策の内容について制度設計中のもの	D:施策について未検討又は施策について見直しが必要であるもの
----	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------	--------------------------------

(1)テーマ:つくば市で働く次世代人材を育成する

評価	B	C	C	C	S
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 新規	検討 新規
施策	人材育成支援	高校生・大学生向けキャリア形成支援企業ネットワークの形成	科学技術週間と連携した市内企業公開	小中学生向け市内中小企業訪問	小中高生向け起業セミナーの実施

(2)テーマ:若者が地域に定着化(職・住)する

評価	S	A	A	A	C	B
実施/検討 新規/拡充	実施 拡充	実施 新規	実施 新規	実施 拡充	検討 新規	検討 新規
施策	就活イベント、採用力向上セミナー	就労ニーズの調査	市内企業インターンシップ支援	事業者紹介情報の発信	高校生・大学生・U・Iターン者向け事業者紹介	UIターン就職者支援

(3)テーマ:多様な人材の就労機会を創出する

評価	S	S	C	D
実施/検討 新規/拡充	実施 継続	実施 新規	実施 新規	検討 新規
施策	就労支援(ハローワーク連携)	雇用相談	外国人材受入支援	シニア受入支援事業

(4)テーマ:離職率が低下し、従業員が定着する

評価	B	A		A
実施/検討 新規/拡充	実施 新規	実施 新規	検討 新規	検討 拡充
施策	人材育成支援	テレワーク・時差出勤等導入支援	IoT・RPA等最先端技術導入支援【再掲】	多様な働き方の促進

評価Dで次年度検討予定の施策

【シニア受入支援事業】生涯学習推進課で「50歳以上の方とシニアのための就職セミナー」を実施しており、産業振興課としてどのような支援が必要か検討する。

課題がある施策とその内容(評価B又はC)

【人材育成支援】ワンストップ相談窓口において支援中であるが、商工会等と連携して、セミナー・研修会等を実施していく。
 【高校生・大学生向けキャリア形成支援企業ネットワークの形成】2021年度就職フェアの出展企業に意向調査を実施したため、その結果を今後の制度設計につなげる。また、株式会社マイナビが高校生の大学卒業後のUターン・地元就職につなげることを目的として、高校生が地元企業の魅力や仕事を学習する事業を実施しており、市としても受入企業の募集等に協力している。(重点4)
 【高校生・大学生・UIターン者向け事業者紹介】2020年度から就職フェア参加者対し事前にWEB上で事業者情報を公開しているが、採用対象を詳細に分類していないため、今後採用対象の分類方法を検討する。
 【外国人材受入支援】筑波大学と連携し、企業への留学生に関する情報共有の場を設けることを検討する。
 【科学技術週間と連携した市内企業公開】IoTやクオリティ認定事業者等と、時期として可能か、公開できるものがあるか等協議する。
 【小中学生向け市内中小企業訪問】生涯学習推進課で行っている「つくばちびっこ博士」事業とのコラボを模索するとともに、夏休み等を利用した小中学生向けワークショップ企画を行う。

つくば市産業戦略進捗管理総括

計画全体進捗状況

計画	実施事業	58	検討事業	28	計	86 (うち重複施策4)
進捗状況	実施済	73	未実施	13		
						事業実施率 85%

(以下内訳)

【安定して事業を継続・発展できるまち】

計画	実施事業	22	検討事業	9	計	31
進捗状況	実施済	24	未実施	7		
						事業実施率 77%

【新たにチャレンジできるまち】

計画	実施事業	11	検討事業	4	計	15
進捗状況	実施済	13	未実施	2		
						事業実施率 87%

【世界の未来をつくる新たな科学・技術・人材が生まれるまち】

計画	実施事業	14	検討事業	7	計	21
進捗状況	実施済	20	未実施	1		
						事業実施率 95%

【地域産業人材が集まり・定着するまち】

計画	実施事業	11	検討事業	8	計	19
進捗状況	実施済	16	未実施	3		
						事業実施率 84%

成果指標

市内総生産(出典:茨城県市町村民経済計算)

13,603億円(2017年度)→14,383億円(2024年度) | 14,688億円(2019年度:現最新)

つくば市認定制度への申請件数

9件(2019年度)→100件(2020-2024年度累計) | 42件(2020年度実績) 26件(2021年度実績)

市内における新規創業者数

102人(2019年度)→395人(2020-2024年度累計) | 124人(2020年度実績) 87人(2021年度実績)

市内における就業者数(出典:茨城県市町村民経済計算)

133,388人(2017年度)→143,006人(2024年度) | 137,176人(2019年度:現最新)

2022年度用

プロジェクト名	事業承継から創業へつなぐ経営資源承継プロジェクト							
事業概要	廃業予定又は事業承継未定の事業者に対して、事業承継の取組み促進や承継希望者や創業希望者等とのマッチングの場を提供するなど、中小企業者が長年の経営を通して培ってきた経営資源を次世代の担い手へ承継させることで、これまで既存産業を支えてきた資源を引き続きつば市の産業へ活用していく。							
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024	
	事業承継に係る相談件数	30(累計)	0	3				
	事業承継のマッチング件数	9(累計)	0	0				
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール					
			2020	2021	2022	2023	2024	
	事業承継未定事業者の顕在化	調査実施	方法検討	調査実施	-----			
	経営資源と次世代産業の担い手とのマッチング	承継経営資源の洗い出し				実施	-----	----->
		承継先の抽出				実施	-----	----->
マッチング					実施	-----	----->	
モニタリング					実施	-----	----->	
実施内容及びその成果	・市内事業者に事業承継に係るアンケートを行い、事業承継に対する考え方を把握することができた。(約5,300社に対し実施、約400社より回答有) ・茨城県事業承継支援ネットワークへ加盟し、事業承継支援体制を構築することができた。当該ネットワークは、茨城県事業承継・引継ぎセンター、茨城県、商工団体、金融機関、土業団体等を構成員としている。ネットワークに加盟することにより、市内事業者は、茨城県事業承継・引継ぎ支援センターの専門家による支援を受けることができる。(無料個別相談・人材バンク活用等)							
次年度実施内容及び改善点	・茨城県事業承継・引継ぎ支援センター、商工会と連携した支援体制の構築。 ・市内事業者に対し事業承継の個別相談会を実施する。 ・事業承継を希望する事業者を、「茨城県事業承継・引継ぎ支援センター」に引き継ぎ、事業承継を円滑に行うことができるように支援を行う。							

2022年度用

プロジェクト名	市内事業者をつなぐ つくば市認定プロジェクト							
事業概要	地域の資源を生かした製品・サービスの開発と販路拡大の支援が十分に行われていない現状を鑑み、認定制度を基点とした、販路開拓の重点的支援や、製品・サービスの品質向上の支援に取り組む。							
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024	
	つくば市認定制度の認定件数	80(累計)	36(13+23)	21(15+6)				
	販売促進活動の支援件数	50(累計)	8	19				
	つくば市認定制度へのチャレンジ支援件数	30(累計)	0	3				
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール					
			2020	2021	2022	2023	2024	
	つくば市認定制度の見直し	認定制度の見直し	見直し	実施			▶	
	つくば市認定製品・サービスプラットフォームによる販売促進	プラットフォームの設計・設置	設置		▶	実施		▶
		販売促進活動の実施				実施		▶
	つくば市認定制度へのチャレンジ支援	支援メニューの検討・具体化			検討・具体化			
支援メニューの実施					実施		▶	
実施内容及びその成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内の優れた技術やサービスを認定する、「つくばクオリティ認定制度」を2020年度に新設し、2020年度は23件、2021年度は6件の商品及び役務を認定した。 市内の優れた物産品を認定する「つくばコレクション認証制度」では新規商品5品を含む15品を認証した。 つくばコレクションに認定されなかった商品のフォローアップやこれからつくばコレクションの認証を受けようとする商品のチャレンジ支援につなげることを目的に物産品魅力度向上プログラム(2021年度はパッケージデザイン編)を3者へ実施し、事業者のパッケージデザインに対する意識改革を促すとともに、パッケージデザインの魅力向上を図ることができた。 							
次年度実施内容及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> つくばクオリティ認定制度における販促支援の部分が弱い現状を鑑み、認定事業者の意向に沿った支援を積極的に行っていく。 認定制度へのチャレンジ支援では、コレクションに関しては、引き続き行っていく一方、クオリティに関しては、申請内容が多岐にわたるため、寄り添った支援メニューの検討が難しい部分がある。 							

2022年度用

プロジェクト名	科学×技術×人材の交流が世界の未来へつなぐプロジェクト						
事業概要	既存事業者や、社会実装事業や創業に向けてチャレンジしている人材や創業者等のつながりを強化することで、市内における新事業の創出や新規の事業者創出を加速化していく。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	異業種交流会参加事業者数	50	0	9			
	提携連結・協業成果情報発信支援件数	3	0	1			
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	科学×技術×人材の交流の場の提供	交流会の開催	手法検討	→	実施	→	→
	新たな科学×技術×人材の情報発信	情報発信	手法検討	実施	→	→	→
実施内容及びその成果	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種交流会の開催に当たり、コロナ禍ということを鑑み、実地開催ではなく、オンラインでイベントプラットフォームを活用しての大規模なものを模索した。しかし調整がつかず今年度に関しては実施を見送ることとした。 ・市内事業者間の交流及び事業PRを目的として、市内商業施設において創業支援ネットワークによる支援を受けた方を対象としたイベントを実施し、6事業者(+創業予定者3者)が参加した。 						
次年度実施内容及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップパークでの定期開催イベント等において、既存事業者も気軽に交流できるような場を作り、交流を図る。 ・商業施設でのイベント実施を含む各イベントへの出展を通じた交流促進の実施する。 ・スタートアップ支援や創業支援、つくばSociety 5.0社会実装トライアル支援等の事業で開発した技術を広く既存事業者へ発信し、マッチング機会を増やしていく。 						

2022年度用

プロジェクト名	多様な人材と地元事業者をつなぐネットワーキングプロジェクト						
事業概要	既存事業者において、人材不足が経営上の課題となっている。一方で、市内大学には特徴ある学部(スポーツ、芸術)の学生や留学生や、研究機関出身のシニア等多様な人材がおり、働き手と事業者双方のニーズの情報共有をすることで、人材受入れに関する意識の醸成につなげていく。また、地元事業者と多様な人材がつながるきっかけや機会の創出に取り組む。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	市内企業と就職希望者の交流会参加者数	130	194+34	136+44			
	就職面接会におけるマッチング実績数(累計)	945	709	1318			
計画	カテゴリ	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	多様な人材・事業者のニーズ調査	人材・事業者のニーズ把握	対象別に順次調査				▶
		人材・事業者のニーズに関する情報発信		調査結果をもとに発信			▶
	事業者側と人材側の交流の場の創出	イベントの設計・準備		設計・準備			▶
イベントの準備・実施			実施			▶	
実施内容及びその成果	就職フェアの出展企業に対し、スポーツや芸術等の専門学部の学生、留学生やシニアの採用状況及び今後の採用検討等についてアンケート調査を実施した。その結果を次年度の就職フェア等に活用する。						
次年度実施内容及び改善点	就職フェアの募集対象として、スポーツや芸術等の専門学部の学生、留学生やシニアの枠を追加することで、多様な人材が地元事業者を選択する機会につながる。						

2022年度用

プロジェクト名	事業者の成長段階にあわせた受入環境確保プロジェクト						
事業概要	事業者が事業拡大等に伴う移転の際の支援が不足しており、小規模オフィスの次の段階となる拠点を探す際に市外移転するケースがあるため、事業者の成長段階に合わせて、継続して事業が行えるような受入環境の向上を図る。						
KPI	指標	目標値	2020	2021	2022	2023	2024
	新規立地希望者および市内移転希望事業者へのフォローアップ	15	0	5			
	新規および拡充立地企業数(累計)	50	17	37			
計画	カテゴリー	取組内容	スケジュール				
			2020	2021	2022	2023	2024
	事業物件・用地等のニーズ把握	調査方法検討	検討				
		調査実施		調査実施	→		
	事業所立地活用可能物件の発掘・情報発信	情報収集		情報収集	→		
		情報発信			情報発信	→	
受入環境整備				環境整備	→		
実施内容及びその成果	工業団地内企業に事業スペース・用地等のニーズ調査を実施し、現在の立地環境評価や今後の事業展開、新規立地の選定条件等を知ることができた。						
次年度実施内容及び改善点	市内立地企業へのフォローアップ訪問において、用地等のニーズをヒアリングするとともに、産業用地の創出に向けた取組について検討していく。						